

実証成果 JA 大阪中河内ぶどう栽培同好会（大阪府柏原市）

実証課題名 スマート農業技術によるデラウェア栽培の省力化・高品質化と大粒ブドウ品種導入拡大

経営概要 2.26ha(ブドウ2.26ha) うち実証面積:ブドウ2.26ha



導入技術 ①ハウス自動換気②ドローン生育調査、施肥③アシストスーツ
④ラジコン草刈機⑤クラウド農作業日誌



目標 10a 当たり作業時間の 12%削減、デラウェア栽培管理作業の効率改善等により農業所得 35%増
ハウス自動換気により収穫時期の前進 10 日 単収の増加 5%

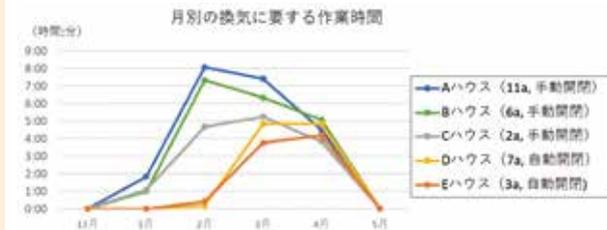
1 目標に対する達成状況

- スマート技術導入によりハウスの作業時間が22%、露地では11%削減でき、目標を達成できた。
- 売上は22.5%増加したが、農業所得については6.7%の減少となり未達成であった。
- ハウス換気の最適化により収穫時期が7日前進し、目標を概ね達成できた。
- 単収は3.6%増加し、目標を概ね達成できた。
- ※ なお、スマート機器の効果を最大限に発揮し得る経営モデルを試算したところ、売上176.5%増、農家所得414.1%増となり、目標を超過達成する見込みとなった。

2 導入技術の効果

自動換気システム

- 導入したハウスでは、1～2月の作業時間を大幅削減
- 生育適温を長く維持できるようになり、収穫時期が7日前進した



アシストスーツ

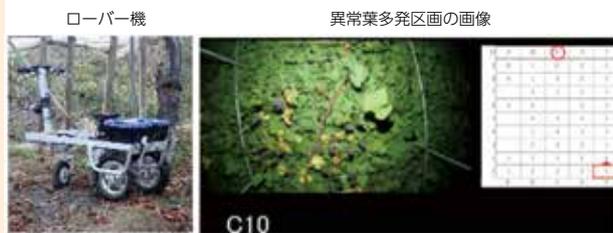
- ブドウ棚下作業の時間が11%削減
- 体力のない高齢者や女性に適しているとの意見が得られた



腕上げ作業用アシストスーツ使用による作業時間削減効果

ドローンによる生育調査

- 画像解析により相対的に樹勢が弱い箇所を特定し、ドローンにより追肥を行った。その結果、樹勢の回復と施肥作業の省力化を確認



ラジコン草刈機

- 草刈りの作業時間はエンジン式刈り払い機と比較して45%削減。
- 特に猛暑下での作業が楽になった。



3 事業終了後の普及のための取組

- 実証成果のうち、特に評価の高かった自動換気装置について技術資料を作成した。
- 大阪府果樹振興会や大阪府スマート農業フェアなどを通じて成果を周知して、府内の他産地のブドウ生産者への波及に取り組む。

問い合わせ先

JA大阪中河内柏原営農購買所
大阪府中部農と緑の総合事務所農の普及課

(電話:072-971-8308)
(電話:072-922-3070)